

ビジネスデザイン研究科

MBA意識調査 (2008年度)

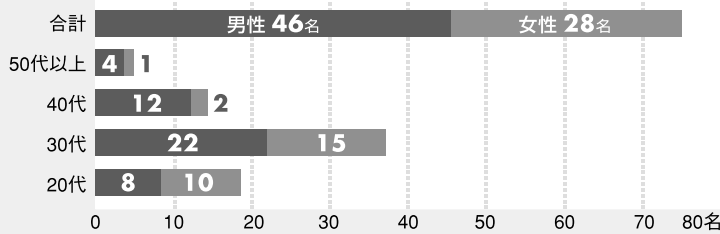
アンケート：5月12日(月) 日本語コミュニケーション、
実施 ビジネス・オーガニゼーション1、
会計学基礎
5月13日(火) 統計学1
5月17日(土) 会計学基礎、統計学1各教室
回収数 : 74

(記事) 加藤彰、チェ・ハンラ、福田三成

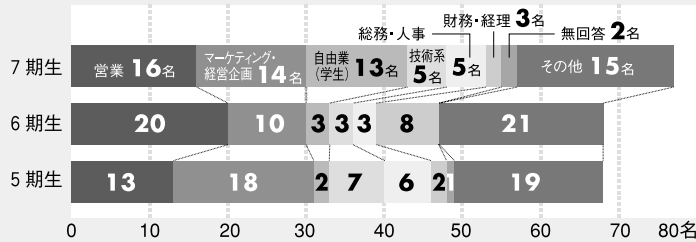
(協力) 浅野秀浩、泉晶、加藤武志、斉藤信也、佐藤聡明、菅沼生喜、田村直純、丁麗文、細野茂子、緑川雅一、山浦緑、山口己智一、横山和也

アンケート調査実施にあたって

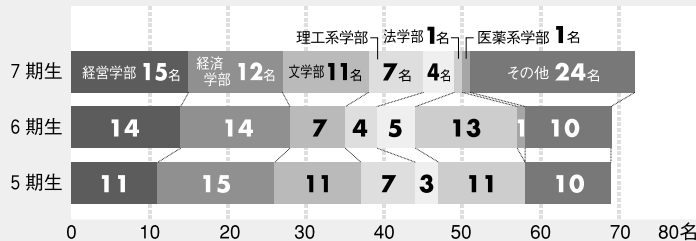
BizComでは、本年度も新入生(7期生)を対象としたアンケート調査を実施しました。例年通り、BD研究科へ入学する院生の年齢構成、職業、入学の動機などを質問項目に、74名の方からご協力をいただきました。本誌面において調査結果を公表するとともに、院生から要望の多かった事項については大学側へ改善を要請したいと考えています。

Q1 あなたの性別・年齢は?
(7期生)A 今回も30代が中心。
女性の比率が大きく増加(対前年比)。

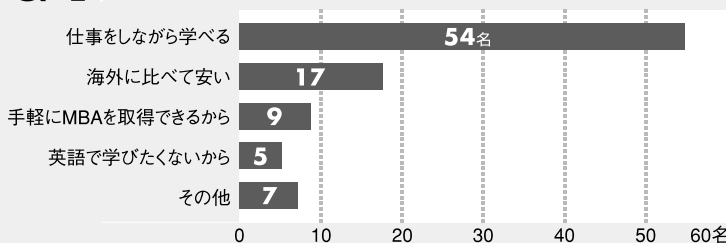
7期生の男女比率は、男性(62%)、女性(38%)です。女性の割合が、前回調査(28%)と比べて大きく伸びています。また年齢層では、今回も30代が中心です。30代の割合が多い理由は、組織の中核を担う世代として、将来的な転職を考える時期であるためと考えられます。また、20代の増加傾向も顕著(前回18%→今回24%)であり、キャリアデザインを考える時期が早まっていると推測されます。

Q2 あなたの職業は?
(5・6・7期生)A マーケティング(経営企画)と
営業が多い。

7期生の職種は、例年通り営業とマーケティング(経営企画)を合わせて全体の40%を超えています。その他には、企業経営者、医療関係、ケースワーカーなど多様な職種がありました。自由業(学生)の増加は前回に比べ留学生からの回収率が高かったことによるものと考えられます。

Q3 あなたの出身学部は?
(5・6・7期生)A 経営、経済が中心ながら、
出身学部は多種多様。

出身学部は、経営、経済など文系学部を中心に、全体としては多岐に渡っています。BD研究科で学ぶ社会人に、出身学部はあまり関係ないということでしょう。進学目的も、学部時代の専攻ではなく職務経験を通じての問題意識によるものと考えられます。その他の中には、美術系学部2名、社会福祉学部、農学部という回答もありました。

Q4 あなたが国内でのMBA取得を目指した理由は?
(7期生・複数回答)

A 仕事をしながら学べるという理由が大多数。

国内での取得を目指した理由は、やはり現在の仕事を続けながら学ぶことができることが、大多数の意見。「勉強はしてみたいけれど、キャリアを中断して海外留学は現実的に難しい」ということを示していると思われます。またその他の中には、留学生の方の「日本語を学びながらMBAを取得できる」という意見もありました。